受賞者≪株式会社名門大洋フェリー≫

＜省エネ型フェリー建造、省エネ型機器･設備の積極導入などによる CO2 積極削減＞

- 平成 13 年 7 月の新総合物流施策大綱において示されたモーダルシフトの考え方に賛同し、長年にわたる CO2 排出量削減の積極的な取組
- 省エネ型大型フェリーの建造やグリーン物流、グリーン経営、省エネ機器･設備を積極導入
- 大型フェリーとしては日本初となる陸電システムの導入、又、船舶向けの太陽光発電システムとしては世界最大級の設備を導入するなど、先進的取組みを積極推進

１．環境への取り組み

名門大洋フェリーは、「大阪南港～新門司港」航路でフェリー事業を営業しておりますが、自らの誓いの一つで「環境保全は企業普遍の責務である。」としています。平成 14 年には、環境に配慮した新造フェリーである「フェリーきょうと２」･「フェリーふくおか２」を就航させ、平成 17 年にはグリーン経営認証を取得するなど、地球温暖化問題へ積極的に取り組んでまいりました。

２．モーダルシフトの推進

物流部門では、国が平成 13 年に定めたモーダルシフト施策を実現化することが、フェリー事業の社会的使命の一つと認識し、フェリーユーザーである荷主企業、物流事業者や弊社子会社の「フェリックス物流株式会社」と連携して、有人トラックによる陸走からシャーシ無人航送による海運へのモーダルシフトを積極的に推進しています。平成 16 年度には、国土交通省の「環境負荷の小さい物流体系の構築を目指す実証実験」や平成 18 年度からはグリーン物流パートナーシップ会議の認定普及事業で荷主事業者とともに、物流分野における CO2 排出量削減に取り組んでおります。

また、平成 20 年度からは海運へのモーダルシフトを推進する「エコシップマーク」の普及に向けて実行委員会の中核メンバーとして活躍しています。

（大阪南港から乗船するトレーラーシャーシ）

３．船体における環境配慮

フェリーの船体自体では、国土交通省、及び、NEDO のご支援を受けて、平成 20 年度に燃料改質器・遮熱塗料・遮熱フィルムなどの設備の導入を実施いたしました。

また、平成 21 年度には、国土交通省の「内航運航合理化・利便性改善実証事業」により、低摩擦型船底塗料の導入を実施、「フェリーふくおか２」に、陸上から電気を送る「陸上電力供給システム」と、最上甲板に

船内電気系統と直結した「太陽光発電システム」を試験搭載いたしました。

（陸上電力供給システム）

「陸上電力供給システム」とは、受電容量最大650kW、AC6600Vの高電圧で受電し、船内電力との切替を商用としては国内初となる無停電にて行います。これにより、停泊中はフェリーの発電機エンジンを停止することができ、CO2の大幅な削減が可能となります。

（太陽光発電システム）

次に、「太陽光発電システム」では、船の最上甲板に、船舶向けとしては世界最大となる約280枚の太陽光パネルを設置いたしました。これは、50kW（一般家庭の約16軒分）の発電能力を備えており、停泊中における船体の総使用電力の約1割強を賄うことができる画期的な取り組みと評価されています。

今後も地球温暖化問題のため、モーダルシフトを積極的に推進し、また自ら、大型船舶を運航する改正省エネ法での特定輸送事業者として、CO2排出量削減に積極的に取り組んでいく所存です。

株式会社名門大洋フェリー

代表取締役社長　阿部　哲夫

〒550-0002

大阪市西区江戸堀1丁目9番6号

電話　06-6449-7155

旅客予約センター　050-3784-9680

URL　http://www.cityline.co.jp

環境憲章（基本理念）

私たちは、フェリー事業を中核とする輸送事業グループとして、海洋・地球環境保護への取り組みが、全ての人類・企業にとって最も重要な課題であると認識し、事業活動全般において、環境保全に配慮した行動に努めます。

便名	新門司港 ⟷ 大阪南港	
1便	17:00発	05:30着
2便	20:00発	08:20着